

# 子ども劇場ニュースレター

No. 50

Society of Children's Theatre Works &amp; Community Development

発行責任者 中島久美子

## 2021年度定期総会 終了しました

2021年6月9日水曜日、2021年度定期総会を無事終えることができました。

議事に入る前に30分ほどの朗読会を企画しました。県内在住の劇団 The ちゃぶ台の木内里美さんの朗読に合わせ、アマチュアの演奏家お二人によるBGM。ステキな絵本の世界をよりドラマティックに表現され、至福の時間となりました。

昨年度、コロナ禍の中で今までにない精神的な苦しさを感じながらも、子どもの今ある姿から目を逸らさずにたくさんの活動を続けてきたことは私たちの会にとって大きな力になりました。

今年度は50周年記念事業として、文化芸術・あそびの力を通してこれまで続けてこられたことへの感謝をカタチしていく取り組みを確認しました。

「子どもの真の生きる力」とは、何か?時代や社会、環境が変わっても失くしてはならないことを常に考え続け、子どもにとって最良のものを見抜くためのモノサシを私たちは持つことが求められていると思います。そのモノサシのひとつに子どもの権利条約があります。渾沌とした今だからこそ、31条「子どもの休息・余暇、遊び・レクリエーション、文化・芸術の権利」の学びを深めていけたらと思います。



### 目次

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. 定期総会の報告            | 1   |
| 2. 学習会報告              | 2~3 |
| 3. 50周年事業鑑賞会報告        | 4~6 |
| 4. 地域公演交流会（メディア学習会）報告 | 7   |
| 5. これからの予定            | 8   |

発行 特定非営利活動法人熊本県子ども劇場連絡会  
〒860-0821  
熊本中央区本山1丁目6-9白木ビル3階  
TEL 096-356-0741 FAX 096-356-0780  
e-mail info@kumageki.jp  
<http://www.kumageki.jp>

(編集：東坂)



## 50周年企画 オンライン講演会

### ともに子育てるために!



～子どもの脳とこころを傷つけない子育て～

講師：友田明美氏（福井大学 子どものこころ発達研究センター教

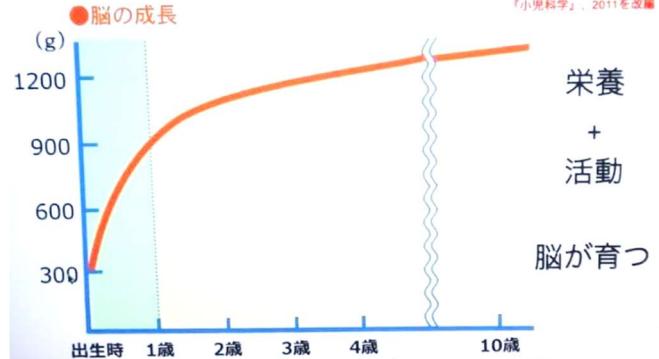
2021年4月25日（日）

福井大学子どものこころの発達研究センター教授の友田明美さんを講師に迎え、子育てのアドバイスを医学的見地からお話をうかがいました。zoomで繋いで、参加者にはYouTubeで配信。ギリギリまで準備や調整に気を遣いなんとか無事に講演会を終えることが出来ました。

参加者（125）名

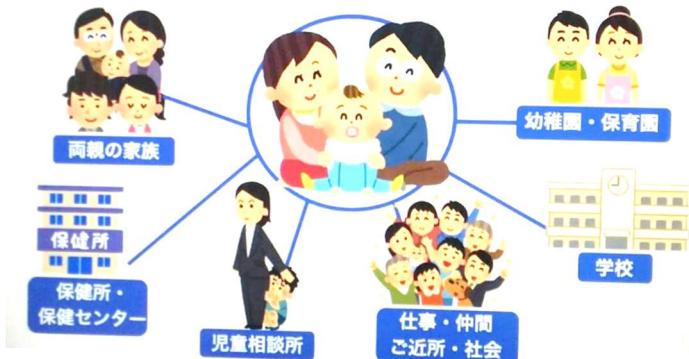
### 乳幼児期に脳が育つ

脳は1歳で大人の約70%に成長！



### 「マルトリ予防」には「とも育て」が 必要

マルトリ予防WEBサイト: [marutori.jp](http://marutori.jp)



#### <参加者の感想>

- とても勉強になりました。子育て中の娘二人も視聴して色々反省も考え方もまなべたようです。私も反省ばかりでした。完璧な子育てではないと言う言葉に救われた気がします。全国に拡げていけると沢山の子育て中のお母さんは救われ、孫育てのお祖父さんやおばあさんも手助けのピントになりますよね。一番は子ども達が救われ、幸せにすごせますよね。
- とても参考になりました。どういう風に子育てをするのが正解なのか悩んでいる中で、「完璧な子育てではない」という言葉に少し気が楽になりました。なかなか言うことを聞いてくれずイライラする日々ですが、なるべく怒鳴らないように気をつけていこうと思います。
- 科学的に医学的にデータで示され、脳にどんな影響を及ぼすか、とても分かりやすいお話でした。社会と繋がる…学校の先生、保育士さん、地域の方々の協力が大事だと本当にそう思います。



2021年6月19日（土） オンライン配信会場：市民会館大会議室

～子どものからだの“おかしさ”を科学で解明～

～子どもの権利条約をベースに子どもの日常を考える～

参加者（90）名

収束が見えない“コロナ禍”、子どもたちの生活、心や体が心配されています。「疲れやすい」「やる気が出ない」「すぐキレる」「ネットに夢中」などこれらはどれも子育て中の親たちが実感する最近の子どもの様子です。このような現実に直面している今、目の前の子どもたちの心と体がどのような状況にあるのか？私たち大人がまずはしっかり把握することが必要だと考え企画いたしました。科学的データに基づき、子どもの生活がどうあれば健やかに育っていくか、日体大の野井真吾教授は「光・暗闇・外あそび」と端的に表現され、「子どもの成長欲求を信じてみる！」と話されました。アフタフバーバン創設者の北島尚志さんは、子どもと関わる現場での体験から「子どもの感性に委ねる！」と話され、お二人ともに、子どもはひとりの人間として存在することを分かりやすく話してくださいました。

些細なワクワクドキドキすることを見つける、つくり出し、コロナ禍の中でも意欲的に暮らすことが大事で、希望を持って大人たちは明るく前向きに過ごすことで、子どもたちも楽しく過ごしていくのでは。と結ばれました。

子どもも大人も自分の思いや考え方を話してみる、相手の声を聞いてみる。そうしやすい環境を先ずはつくることが大切だと改めて思いました。



↑ 対談の構想を考えながら、野井先生のお話を聞く北島さん

思春期のお子さんを持つ父親であり、中学校の先生としても過ごされた経験が今の研究にいかされているという野井先生



# 熊本子ども劇場50周年オープニング企画

## 人形劇団プーク『エルマーのぼうけん』



素敵なお色の人形や舞台装置。ドキドキワクワクがいっぱいのエルマー少年と仲間たちの冒険の世界に、グッと胸が熱くなりました。

来年3月で満50才となる熊本子ども劇場。子ども劇場を知りたい。また、生の舞台の素晴らしさを感じていただきたく、50組100名の親子をご招待しました。

初めて県立劇場で、大型人形劇を観劇したであろう親子も子ども劇場の会員もみんな、冒険の世界に釘付けでした！

たくさんの笑顔と拍手に包まれました。プークのみなさんの躍動感あふれる演技に感謝感激!!

コロナ禍の活動は本当に大変ですが、良質な生の舞台でしか味わえない、代え難い感動を子どもたちに届け続けるということを止めてはいけない！とあらためて感じました。

新入会4月～5月にかけて、73名！新しい仲間と共にこれからも楽しんでいきたいと思います。

人形劇団プークのみなさん、本当にありがとうございました。

チトの公演ですがご招待した藤崎台童園の園長先生からお礼の文章をご紹介します。

令和3年7月7日

熊本県子ども劇場 御中

御 礼

このたびは人形劇団むすび座「チト～みどりのゆびをもつ少年～」の招待券を寄贈いただき、心より御礼申し上げます。

7月4日に行われた人形劇には、小学生7人が参加させていただきました。人形たちが繰り広げるお話の世界に子どもたちは釘付けとなり、とても楽しい時間を過ごすことができたようで、子どもたちは大喜びでした。

様々な事情で暮らしている子どもたちにとって、このようなお心遣いこそが、決して一人ではなくみんなに支えられているということを実感し、これから前向きの人生を歩かせる動機づけになるものと思っています。

私ども職員一同、子どもたちのため、精一杯頑張ってまいりますので、どうかこれからも温かく見守っていただければ幸いです。

最後に、暑さ厳しき折から、くれぐれもどうか自愛のうえ、今後ますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げまして、簡単ではございますが御礼とさせていただきます。

児童養護施設 藤崎台童園  
園長 北村 直登



## 50周年企画 「チト」無事終了！



2021年7月4日(日) @熊本県立劇場演劇ホール

昨年の延期を含め、足掛け3年の取り組みとなった、人形劇団むすび座「チト～みどりのゆびをもつ少年」  
今回の作品は、人形劇団むすび座さん自身の50周年を記念して作られた作品ということもあり、演技、演出、人形操作、美術、音楽、そして舞台にかける熱い思い。

とにかくすべてのチカラが十二分に詰め込まれた、素晴らしい作品でした。

公演当日は、会場の各地で大人も子どもも涙なみだ、思いが溢れています。

延期はあったものの制限の続く日々を経て、より「今出会うべき作品に出会えた！」という気がしました。

公演を迎えるまでには、私たち熊本子ども劇場の50周年企画として、実行委員会を立ち上げ、取り組みました。グッズ作成から、当日のロビーを飾るたくさんの花や植物、その取り組みの軌跡も飾り、当日の会場を盛り上げました。また、50周年を迎えることができた社会への還元として、なかなか生の舞台に出会う機会の少ない子どもたち、親子をご招待するための「クラウドファンディング」も、会にとって大きな力となりました。3年掛けた取り組みだったからこそ、スタッフはもちろん会員さんもそれぞれに向き合った「チト」があります。それぞれのドラマを、また改めて振り返り、まとめをしよう！！と思っています。



～ゆずり葉：清水菜穂子さんより～

2019年12月～クラウドファンディングプロジェクトで成立した、NPO法人熊本こども劇場さん「子どもたちに大型人形劇『チト』を届けたい！」の想いが集結した日でした。

プロジェクトでは2020年4月に公演予定だった大型人形劇「チト～みどりの指をもつ少年」はコロナのために延期に。中止とならずに延期にすることも非常に大きな判断だったと思います。

準備から足掛け3年をかけての実施に、開演前から熱気がすごかったです。それまでの経緯、実行委員会の各取り組みの紹介、グッズ販売、会場も満席でした！クラウドファンディングの資金で、このような観劇の機会の少ない子どもたちを100人ご招待されています。幕が開けると人形劇のイメージを塗り替えるような、素晴らしい演出や歌、そしてストーリーで最後は涙が溢れる、感動的な時間となりました。「心に花を」コロナ禍を経たからこそ、さらに心に響くストーリーでした。

パンフレットにもあった「心にワクチン」を。

文化が心にもたらす癒しの力、励まし、勇気、優しさ、愛・・・。チトの講演から、それを準備された皆さんのがこつこつと作り上げてくださった時間から頂いた「心のワクチン」は100%効きました！

改めて、この場を可能にしてくださったクラウドファンディングでの支援者の皆様に心より感謝を申し上げます。

一人の力は小さくても、集まればこんなチカラになるのだと、改めてクラウドファンディングの良さを心の奥で感じることができました。本当にありがとうございました。

# 田楽座公演 楽まつり

子どもゆめ基金助成事業

## 獅子舞ワークショップ

子どもゆめ基金助成事業『獅子舞ワークショップ』

長野在住の歌舞劇団田楽座のご指導のもと、子どもたち12名大人7名で楽しく獅子舞になりました！  
獅子舞は疫病退散する力を持っているそうです。コロナが1日も早く収束してほしい私たちにぴったりなワークショップでした。盆踊りも2曲マスターし、夏祭りに参加したような、素敵なお時間を過ごしました！  
本公演「楽まつり」では力強い和太鼓の演奏はもちろん、民謡に合わせた踊り、篠笛の演奏など盛りだくさん。  
小さい子からお年寄りまでとても喜んでいる姿が見えました。田楽座のみなさんからしっかり元気をいただきました！ありがとうございました。



### ＜参加者の感想＞

- たいこがすごいおとだったです。たのしかったです。
- ソーラン節、今までたくさん見てきましたが、こんなに漁の情景がみえるソーラン節ははじめてでした。感動しました。
- 田楽座さんとの出会いを通して、また、子ども劇場の活動の幅が広がったように感じました。老若男女が一同に楽しめる「まつり」はいいですね。

# 地域公演交流会 2021 & メディア学習講演会

昨年度、熊本県内で地域公演 70 ステージ（参加者延べ人数 2359 名）が開催され、コロナ禍の中でもたくさんの人が関わり、子どもたちの文化体験の機会をつくることができました。残念ながら、延期や中止になった公演もありましたが環境が整った時にまた、開催できるよう皆さんと交流できたらと思い企画しました。

「総会の時の The ちゃぶ台の木内さんの朗読を地域にも広げたいね！」とか「会場を提供してくださっている家族葬のファミーウさんでアミーカのコンサートをしたいね！」といった声を拾うことが出来ました。

昨年に引き続き、メディア学習会も開催しました。コロナ禍で進むメディアの影響を受ける子どもたちの現状を知り、リアルな体験の場の一つに地域公演が加わることができるよう、アフタフ・バーバン関西の北崎圭太さんからオンライン配信でお話をうかがいました。

西部エリアではオンラインで北崎さんとのあそびの会を連続2回開き、オンラインだからこそ楽しみ方で県外に暮す大学生や各ご家庭でみんなと繋がることができ、面白そうでした。普段からあそんでいる関係性があっての企画でもありますので、コロナ禍の中で知恵や工夫はますます大事になってくるなと感じました。



講師：北崎圭太さん

1982 年福岡県生まれ。熊本大学教育学部小学校課程卒。卒業後、熊本県にて表現あそびのグループを設立。2006 年上京。アフタフ・バーバン専任スタッフ。全国各地で子どものあそび・関わりのプログラムを企画・運営。2010 年より、子どものネット・ゲーム依存の問題を独自に研究。2018 年アフタフ・バーバン関西事務所設立。

2020 年「晴 10 (せいてん)」活動は兵庫県神戸市の委託を受け、コロナ禍での学童クラブでの活動で、今の状況を悲観することなく、面白がって活動していることが興味深いです。詳しい報告が子ども白書 2021 (森本扶編集長) にも掲載されています。購入希望の方は子ども劇場でも取り扱っていますので、ご連絡ください。

# 50周年記念事業～これから予定～



「牛若丸」役の玉浦有之祐さんは長崎県出身。今回、長崎県では母校の先生たちが実行委員会を立ち上げて子どもたちと一緒に観る機会を作っています。



“子どもといっしょに楽しめる”  
創作歌舞伎牛若丸が開催されます!  
同封のチラシをご覧いただき、  
ぜひ、ご参加ください!

子ども劇場50周年を記念し、2021年12月5日(日)に劇団前進座・創作歌舞伎「牛若丸」を上演いたします。  
近年、熊本地震、豪雨災害と未曾有の自然災害が絶えません。新型コロナの感染も収束がまだ見えてきません。前進座の皆さんの「舞台芸術の力」をお借りして、熊本が元気になりますようにとの思いと、創作歌舞伎「牛若丸」がより一層楽しめるように、早瀬栄之丞さん、歌舞伎の魅力などを充分に語つていただきたいと思います。  
暑い盛りではございますが、ぜひご都合を揃り合わせの上、ご参加くださいませ。

**『早瀬 栄之丞』講演会のご案内**

## くまもと子ども劇場 50周年記念事業 GEKIDAN AFRICA 「○△□ちゃん」

8月29日(日)

① 11:00 ② 14:00 (各15組限定)

参加費：0～3才親子 1組：2000円

(子ども劇場会員は1500円) ★要事前申込み



ニコースレター今号は記念すべき50号です。コロナ禍にもかかわらず、たくさん子どもたちとの活動の様子をお伝えすることが出来たことに感謝いたします。  
会の事業として「地域公演」(子どものための舞台公演)があります。体と体をギュッとくっつけて座り、生の舞台を観る中で友だちが笑っている、泣いているなどの感情を共有しやすかつた頃に比べて、今はそれが出来ない状況です。でも、心と心をギュッと近づけるための活動を止めずにいろんな方面の大人们と手をつなぎ、舞台を届けていきたいと願います。  
また、先日「子どもと文化全国フォーラム」の総会で話されていた「子どもたちのために」ではなく「子どもたちとともに」という思いを文化芸術の果たす役割の観点から、これから私たちの会の中でも共有していきたいものだと強く感じました。

(東坂初美)

△編集後記△  
この事業として「地域公演」(子どものための舞台公演)があります。体と体をギュッとくっつけて座り、生の舞台を観る中で友だちが笑っている、泣いているなどの感情を共有しやすかつた頃に比べて、今はそれが出来ない状況です。でも、心と心をギュッと近づけるための活動を止めずにいろいろな方面の大人们と手をつなぎ、舞台を届けていきたいと願います。

また、先日「子どもと文化全国フォーラム」の総会で話されていた「子どもたちのために」ではなく「子どもたちとともに」という思いを文化芸術の果たす役割の観点から、これから私たちの会の中でも共有していきたいものだと強く感じました。

